

広報委員会 2020 年活動報告と 2021 年活動計画

- ◆毎月、京都教区時報を発行。
- ◆前の月の最終日曜日までに、各小教区に届くように編集スケジュールを組んでいる。
- ◆今までの教区時報巻頭言は、広報委員会の司祭が順番に書いていたが、来年 2 月以降は、もっと幅広く教区で働く司祭に執筆していただくことになった。
- ◆今年の初めに、長年、時報の編集に携わってきた教区職員の退職により、スタッフの変更があった。また、20 年近く編集委員として関わってくださったボランティアの方もやめられた。来年は広報委員会担当司祭 4 名、教区事務局職員 2 名、読み合わせボランティア 1 名で進めていく。
- ◆ホームページは、リニューアルに向けて準備中。

聖書委員会 2020 年活動報告と 2021 年活動計画

- ◆1986 年に「聖書が好きになる講座」として始まった「聖書講座」も、年に 2 期行っていたこともあり、今年度の講座でシリーズ 37 となるはずだった。過去の資料を振り返ると、多くの方々がこの講座の準備のためにかかわってくださり、全国から講師の神父様やシスター方に来ていただき、開催してきたことがわかる。そして何よりも講座を受講してくださった方々の熱い思いによって、35 年間も続いてきた。
今年も開催に向けて、テーマや講師を決め、募集要項もできあがっていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、講座の中止を余儀なくされた。
- ◆「よくわかる聖書の学び～ヨハネ福音書を読む～」の講座も同じく休止中である。
- ◆今までの講座の CD のコピーを作成し、希望者に販売したり、聖書講座を書籍にした聖書講座シリーズを販売したりしている。
- ◆教区時報の 12 月号をお読みいただくとよくわかっていただけたと思うが、8 月に「オンライン聖書講座」を企画し、10 月より行っている最中である。
テーマ：コロナの時代に聖書を生きる～混沌への光を探して(全 5 回～)
講師：中川博道師(カルメル修道会)
日程：10～2 月 毎月 1 回木曜日
詳細：教区事務局より、YouTube 限定配信(申込者のみ視聴可能)
受講者の詳細：京都教区 104 名、札幌教区 14 名、仙台教区 2 名、さいたま教区 1 名、東京教区 69 名、横浜教区 40 名、名古屋教区 3 名、大阪教区 23 名、広島教区 1 名、福岡教区 1 名、長崎教区 10 名、那覇教区 1 名、プロテスタント 8 名、未信者と不明 6 名、アメリカ 2 名、フィリピン 1 名、オーストラリア 1 名
合計 287 名(12 月 1 日現在)
- ◆来年度の聖書講座の開催については未定。
行うとすれば、今年のようにオンラインでの開催しか無理ではないか。
- ◆聖書委員会は担当司祭 3 名、教区事務局職員 1 名(広報兼任)
オンライン聖書講座の配信時には、福音宣教企画室の 2 名にも協力していただいている。